



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



2018-19年度RI会長: パリー・ラシン / 地区ガバナー: 次野 宗司
加古川ロータリークラブ会長: 岡田 義則 / 幹事: 水川 典明
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町満之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和元年6月11日(火) 曇 No. 44



▲会長の時間



▲小田伸悟新会員自己紹介



▲矢野ガバナー最後の御礼の御挨拶



▲高見徳男新会員自己紹介

会長挨拶

会長 岡田 義則

みなさん、こんにちは、はじめに5月28日週報の会長の時間の中で誤字がありましたので訂正とお詫びを申し上げます。「神木ガバナーを輩出」を「排出」と変換してしまい大変おかしい意味の文章になっていました。訂正をお願いします。文字を間違えるとこんなに失礼な言葉になってしまうものなのですね。大変恥ずかしく、また申し訳なく思います。橋直前会長、ご指摘ありがとうございました。神木パストガバナーには本日謝罪致します。

本日は、矢野ガバナーと西村随行員がお見えです。お忙しい中ありがとうございます。矢野ガバナーにはこの後お話を頂きたいです。またごゆっくり例会を楽しんでください。

さて、一年間を通じロータリーの理念を勉強しているなかで『修証義』(曹洞宗の開祖・道元の著作である曹洞宗の開祖・道元の著作である「正法眼蔵」から、特に在家信徒への布教を念頭におき、重要な点を抜粋し、全5章31節にまとめたもの)の教えが近いよう

に思えたのと自分の勉強のためにも会長の時間で紹介していこうと始めさせていただきました。全てはお話しできませんでしたが目標はほぼ達成できたと思います。ありがとうございました。

最後に第四章の第二十三節をお話して終わりと致します。

第四章「発願利生(ほつがんにしょう)」は自分ではなく人の幸せを願う生き方が説かれています。以前にもお話ししましたがロータリーでいう『超我の奉仕』です。

仏教には「上求菩提(じょうぐぼだい) 下化衆生(げけしゅじょう)」という言葉があります。上求菩提とは自らの悟りを求める生き方で、下化衆生とは人を導く生き方です。

第四章は後者の人を導く生き方に焦点を当てた章となっていて、具体的には、人を導く際に重要となってくる4つの実践徳目として「四摂法(ししょうぼう)」というものが説かれています。

布施(施しをする)

愛語(優しい言葉をかける)

利行(手助けをする)

同事(自分のこととして考える)

以前までに 布施と愛語をおはなししましたが、本日は利行についてお話します。

第二十三節

利行(りぎょう)というのは貴賤の衆生に於きて利益の善巧(ぜんぎょう)を廻らすなり、窮亀(きゅうき)を見、病雀(びょうじゃく)を見しとき、彼が報謝(ほうしゃ)を求めず、唯単(ただひと)えに利行に催おさるなり、愚人(ぐにん)謂(おも)わくは利侘(りた)を先とせば自らが利省(はぶ)かれぬべしと、爾(しか)には非ざるなり、利行は一法なり、普(あまね)く自侘(じた)を利するなり。

現代語訳をしますと、3つ目の利行というのは、富める者、貧しい者に関わりなく、その人のためになる手助けを惜しまないことをいうのです。

窮地にある亀を助けたり、弱った雀を看病して回復させたりして恩返しを受けて出世した故事があるが、それらは恩返しを期待して行ったわけではなかった。ただ「助けずにはおれない」という心から突き動かされた行動であった。そうした心から行われた手助けが利行です。

愚かな者は、人を助け、人の利益になることをすれば、自分が損をすると考える。しかしそうではないのです。1 つしかないものを取り合うような発想ではなく、1 つしかないのであれば、それを全員で共有するような心でいることです。自分の力を自分のためだけに使えば、それは自分を超越するはたらきにはならない。しかし力を人のために使ったとき、そのはたらきは自分という枠を超えて大きな広がりを見せる。そのような広がりを持った力は、自分のみならず、他者のみならず、あまねく人に利益をもたらす。ロータリーの理念そのものではないでしょうか？

これで会長の時間を終わります。一年間ありがとうございました。

幹事報告

- 1) ☆他クラブ例会変更のお知らせ
加古川平成RC ◇7月24日(水)→納涼例会のため 午後6時～ 於;未定
- 2) 次週20日は最終例会です。時間と場所が変更になっております。宜しくお願ひ致します。
時間:午後6時～ 場所:加古川プラザホテル2階 です。
- 3) 本年度、当会場での例会は本日で終わりです。
7月よりBOXの配置が変わりますので書類は全てお持ち帰りいただきますようお願い致します。

- 4) MY ローターの登録が当クラブでは未だ50%に達していません。本年度中に急ぎ登録の程よろしくお願い致します。
- 5) 7月2日の初例会前、12時からオーバルルームにて本年度最終理事会を開催致しますので理事役員の方はお集まり頂きますよう、お願い致します。

ニコニコ



- 省 略 ☺ 多額のニコニコを頂きました。
- 省 略 ☺ 矢野ガバナー、一年間お世話になりました。また本当にお疲れさまでした。
- 省 略 ☺ 西村様、ようこそ加古川RCへ、ごゆっくりして行って下さい。
- 省 略# ☺ 高見、小田、両新会員の自己紹介、楽しみにしています。
- 省 略# ☺ 矢野ガバナー、西村随行者様本日はご苦労様です。一年間本当にお疲れ様でした。
- 省 略# ☺ 高見会員、小田会員、本日の自己紹介、よろしくお願い致します。
- 省 略# ☺ 矢野ガバナーこの一年間ご苦労様でした。本日もありがとうございます。
- 省 略# ☺ 6/8 地区会員増強セミナーに釜谷会員、大辻次期幹事に出席して頂き、ありがとうございました。
- 省 略# ☺ 小田会員、高見会員、本日の自己紹介楽しみにしています。
- 省 略# ☺ 釜谷会員、次年度会員増強セミナーに出席いただき、ありがとうございました。
- 省 略# ☺ 矢野ガバナーをおむかえした喜び。
- 省 略# ☺ 矢野ガバナー、随行者の西村様、ようこそおいで下さいました。一年間お疲れ様でした。
- 省 略# ☺ 矢野ガバナーようこそお越し下さいました。一年間有難うございました。随行者、西村さん、いち早い犯人逮捕を望みます。
- 省 略# ☺ 本日、新会員紹介をさせて頂きます。宜しくお願い致します。
- 省 略# ☺ 高見会員、小田会員自己紹介楽しみです。
- 省 略# ☺ 高見さん、小田さん、卓話楽しみにしています。
- 省 略# ☺ 小田会員、高見会員、これからよろしくお願い致します。
- 省 略# ☺ あいたたかんのんさまのDVD有難く頂戴します。吉田会員ありがとうございます。
- 省 略# ☺ テーブルの花いただきます。

以上19件 ¥44,000-
本年度累計¥2,315,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 78 名 出席 46 名 出席免除 15 名 欠席 17 名 73.01%
- ☆ 欠 席 者 省略
- ☆ 前 々 週 会員数 77 名 出席 52 名 出席免除 15 名 欠席 10 名 83.87%
- ☆ ゲ ス ト RI第2680地区ガバナー 矢野 宗司氏
随行者 西村 雅文氏(加古川中央 RC)
- ☆ メークアップ 会員増強セミナー 6/8 大辻、釜谷

親睦活動委員会

例会場当番

6月20日(木) 玉川、宮崎

7月 2日(火) 河合、富田



プログラム委員会

本日6月11日(火)	6月18日(火)	6月25日(火)	7月2日(火)
新会員自己紹介 小田・高見担当	例会変更 最終例会 6月20日(木) 午後6時～ 於;加古川プラザホテル	例会取り止め [定款第8条 第1節(C)]	新年度初例会

地雷原をフルーツ畑に

ハイディ・クーンさん(サンフランシスコ・ロータリークラブ会員)が宇都宮市(栃木)を訪れたのは1975年、ベトナム戦争が終わってから数カ月後のことでした。彼女にとって、ロータリーの青少年交換学生として日本で得た経験は、第二次大戦後の日米間の和解について深く考えるきっかけとなりました。「敵対していた人たちが平和の架け橋を築いていることが強く印象に残った」と、彼女は振り返ります。

それから20年以上が経ち、テレビのジャーナリストとなったクーンさんは、公共問題に関するフォーラムを開いている団体 Commonwealth Club of California から、あるイベントの司会を頼まれました。そのイベントは、ダイアナ妃の最後の人道ミッション(1997年)に付き添ったジェリー・ホホワイト氏を紹介するというものでした。当時はダイアナ妃の死亡事故が起きた直後で、地雷を撤去するそのミッションは、クーンさんに強いインスピレーションを与えていました。その晩、彼女は次のような言葉とともに乾杯の音頭を取りました。「地雷原がフルーツ畑に変わりますように！」

そのアイデアを実現することに決めたクーンさんは、非営利団体 **Roots of Peace**(平和の根)を創設。同団体は、今日までに何十万もの地雷や危険な軍事品の撤去に取り組み、生まれ変わった大地を果樹園に変えてきました。

Roots of Peace は、アフガニスタン、カブール北部のショマリ平原でも大地を回復させています。かつて豊かな農地だったショマリ平原は、タリバーンによって樹木が焼き払われ、地雷の地と化しました。2003年からは、同団体によって農作物の生産者とインドのスーパーマーケットチェーンをつなぐ取り組みが行われています。

また、サンフランシスコ・ロータリークラブ(米国カリフォルニア州)とバンコク・クローントゥーイ・ロータリークラブ(タイ)とのパートナーシップを通じて197,000ドルのグローバル補助金を受領し、ベトナムのクアンチ省でも地雷を撤去し、黒胡椒の木とタロイモを植えました。さらに、農家が作物を市場に売り出す支援も行っています。

クーンさんは2018年、自身の夫で Roots of Peace のパートナーでもあるゲイリー・クーンさんと共にアフガニスタンを訪れました。よみがえった果樹園を視察し、帰りは収穫された果物と一緒に貨物機で母国に戻りました。

「強烈なインスピレーションを受けた旅。夢が現実となった人生最高のひとときでした」とクーンさん。「それは私たち夫婦だけでなく、世界中の農家とその家族にとっても同じだと思えます」

文:Nikki Kallio



地雷撤去と農地の回復に取り組む団体 Roots of Peace を創設したハイディ・クーンさん(サンフランシスコ・ロータリークラブ所属)。写真:Ian Tuttle